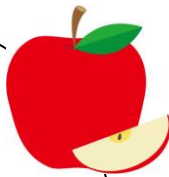




ふくろう通心

映画 『奇跡のリンゴ』



～ 弘前観光コンベンション協会の白戸さんにお話を伺いました ～

皆さんはこの映画をご覧になりましたか？

県内ロケ作品として国内最大級の公開規模は、映画『八甲田山』以来 36年ぶりということで、映画館に足を運んだかたも多かったと思います。

壮大な岩木山と美しいリンゴの花、そして家族の愛に満ちた作品ですが、白戸さんは依頼を受けてから、40年前の雰囲気に合う建物や様々な場所を求め、3か月ほど無休で車を走らせていたそうです。

エキストラ出演やボランティア協力は延べ 900人。「スクリーンに映ってなくて残念だった」というエキストラのかたもいたと思いますが、そのようなおおぜいのかたが存在したからこそ、ねぶた祭りや居酒屋のシーンでの、人のボリューム感があったと思います。

また、ボランティア協力は、今は使われていない古民家の清掃や、リンゴ畑の花や葉を摘む地道な作業だったそうですが、皆さんの力で素敵な映像が生まれたと言っても過言ではありません。本当にご苦労さまでした。

国内映画は年間 300本ほど撮られているなかで、興行収入 10億円の大ヒットとなる作品は約 30本。その半分はアニメだそうです。『奇跡のリンゴ』も 10億円目前の大ヒットとなり、私たち市民もうれしい限りです。

映画、ドラマ、旅番組など弘前の映像には、すべて白戸さんがかかわっているようで、今回の『奇跡のリンゴ』もそのひとつ。「作品を通して観光客が弘前の街にあふれてくれること」という白戸さんの目標は、まだ達成できていないようですが、この街を全国にPRしたいという熱い思いが伝わってきました。

『奇跡のリンゴ』を 1.2 倍(?)楽しめる 弘前ロケーションガイドに載っていないプチ情報

- ・学校のシーンは、弥生小学校と柴田女子高校を使用。
- ・美栄子(菅野美穂)の高校時代を演じたのは、芸能事務所に所属している地元の高校生。
- ・着ていた制服は実業高校の物。
- ・祭りのシーンは原作が 7 月 30 日なので、「岩木夏まつり」だと思い、岩木地区にて撮影。



ボランティア体験記

全国で話題になった津軽の映画『奇跡のリンゴ』、その撮影現場、東目屋の昔ながらの古民家(白神酒造…木村家の住宅として使用)での清掃作業。

現地を見てびっくり、何とも大きな家である。中に入って二度びっくり、汚れがすごい。指示に従って着手したものの、どこからどう手をつければ良いのやら、ためらいました。各スタッフも一様にそう思ったのでは。とにかく広い。それぞれが持ち場を分担しながらも黙々と作業する姿を見て、私も俄然やる気が出てきました。しかし本音は、本当に綺麗になるのだろうか。でも皆の動きに無駄がない。誰一人手を抜かず、汗をかきながらの作業。やり終えた充実感とともに心の底から、「お疲れさまでした」と声をかけあっていました。そして映画を通して綺麗になった古民家が何度も映し出されるのを見て嬉しさで胸が熱くなりました。

薦谷昌一

東日本大震災から2年6か月・・・ 被災地の “いま”

気温30度を超える8月13日。気仙沼から南三陸、そして陸前高田へとそれぞれの被災地を訪ねてみました。ガレキがきれいに片づけられた広大な土地は、雑草が生い茂っており、住宅や会社のコンクリート土台と、でこぼこになった道路が「以前、ここには街があった」と物語っています。

南三陸にある3階建ての鉄骨だけになった《防災庁舎》や、気仙沼の陸に打ち上げられた《大型漁船》。そして、陸前高田の《奇跡の一本松》の前には、観光客や冥福を祈る人が次から次へと訪れ、その途絶えることのない人の波を見ていると、日本人の優しさに出会ったような気がしました。

陸前高田には、5階建ての県営住宅が取り壊されず一棟だけ残っています。窓ガラスが1枚も壊れていない5階部分に対し、4階から下はすべて壊れて無くなっているのを見ると、改めて津波の高さに驚かされ、言葉を失いました。

南三陸の《さんさん商店街》に足を運んでみると、お昼時のせいか、どの店の前も人だかりで、30分ほど待ったのち海鮮丼に舌鼓を打つことができました。「にぎわってますね」と尋ねると、「お盆だしね。あと土、日の昼時はね」と、微笑みながら答えてくれたご主人の笑顔が印象的でした。

復興にはまだまだ時間がかかるとは思いますが、少しずつでも前へ向かって進んで行ってくれるようお願い、被災地を後にしました。

ボランティアスタッフ：Y



奇跡の一本松

豆知識

～魚焼きグリルの受け皿に みかん(柑橘類)の皮を～

魚焼きグリル受け皿にみかん(柑橘類)の皮を、網にあたらぬ程度に入れてから魚を焼くと、魚の脂がみかんの皮から出る成分で水の上に浮き上がって、焼いたあとの洗いがとても楽になりますよ。不都合な点は、においまで取ってしまい、焼いているのを忘れてしまうことです(笑)

魚の脂を吸ったみかんの皮は家庭菜園の肥料としても利用できます。柑橘類の皮だと何でもOKです。食べた後の皮はかごなどに入れて、乾燥させて保存しておくといつでも使えます。

私の柑橘類利用はゆず化粧水から始まりました。冬至のゆず湯のときに、まず皮の表面を少し削り取り冷凍保存します。これは千切りにし、料理に使います。実は搾り、ぼん酢を作ります。残りはネットに入れてお風呂に。種は焼酎に入れて化粧水を作ります。エコロジーというよりはエコノミーですね(笑)

M・M



「ほっと・ぼらんていあ」のお知らせ

10月12日(土)13:30～ 弘前市民参画センター3F

テーマ 「緩和ケア病棟でのボランティア活動について」

ゲスト 青森慈恵会病院緩和ケア病棟

ボランティアコーディネーター 対馬あきゑさん

内容 患者さんたちとの日々のかかわりの中で、ボランティアとしてできることを見つけてみませんか？



編集後記

甲子園出場をかけたの予選会の決勝が、弘前勢同士の戦いということで、今年は大いぶ盛り上がりしました。両校とも監督や選手たちの爽やかな笑顔がとても印象的で、応援する私たちを楽しませてくれました。また、初出場ながらもベスト16という成績を残した代表校に、拍手を送りたいと思います。

この代表校の監督は、野球だけではなく生活面からの指導もしているそうで、「生徒たちのあいさつがすばらしい」とよく耳にします。学校の近くをウォーキングしているとグラウンドからあいさつが飛んできたり、車で校門から入って行く丁寧なあいさつをしてくれるという話を聞きます。

元気のいいあいさつは、すがすがしい気分になり、特に中高年の私たち年代は心が和み、癒されます。

一言のあいさつ＝ボランティアだと改めて感じた夏でした。

ボランティアスタッフ：小山



＜製作＞市民ボランティアスタッフ＜製作協力＞弘前市ボランティア支援センター
〒036-8355 弘前市大字元寺町1-13 弘前市民参画センター内
TEL: 38-5595 FAX: 36-1822
HP: <http://www.hi-it/~vsc>

情報紙についての意見・感想をお待ちしております。